

# 同志社大学

## 2009年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2010年 3月 31日提出

所 属	職 名	氏 名
総合政策学 研究科	教授	谷口 知弘
研 究 題 目	協働型デザインプロセスを活用したソーシャル・キャピタル醸成に関する研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p>■2009年度実施した主な実践的研究プロジェクトの研究経過と成果</p> <p>1) 京町家再生プロジェクト/協働先：NPO 法人うつくしい京都、生活工芸館無名舎                      [研究経過と成果]                      NPO うつくしい京都の事業について、NPO 法人発足から現在に至る経過をまとめ考察をおこなった。京都の景観保全・創造において、市民と専門家の交流を推進する市民活動団体の成果と課題を明らかにすることができた。</p> <p>2) 出町界隈活性化プロジェクト/協働先：京極住民福祉連合会、出町商店街振興組合                      でまち倶楽部、出町まちかど放送局                      [研究経過と成果]                      「出町まちかど放送局」の活動を中心に、地域住民相互の情報発信・情報共有の実験的取り組みとして、商店街の空き店舗を借りて交流スタジオ「井戸端カフェ」を開設・運営した。スタジオでの交流およびインターネットラジオを通じた情報発信・共有が、地域課題の発見から解決に至る実践につながることを確認した。</p> <p>3) 大学と商店街の連携事業に関わる調査業務/協働先：(財) 大学コンソーシアム京都、京都市 (委託調査)                      [研究経過と成果]                      京都市及び大学コンソーシアムと協働で、大学と商店街の連携に関わる調査を行った。大学、商店街ともに連携協力に関して、教育・研究部門に加え、正課外である学生サークルの活動が活発に行われていることを確認し、今後の連携推進策の方向性として有用であることを明らかにした。</p> <p>4) 嵯峨・嵐山地区地域商業ビジョン策定プロジェクト/協働先：嵯峨商店街、嵐山商店街、京都市、京都商工会議所                      [研究経過と成果]                      地域の事業者間の人間関係および地域への愛着を醸成する試みとしてインタビュー活動を中心とした「嵯峨嵐山百景プロジェクト」に取り組んだ。                      インタビューが地域の魅力や課題を再認識する機会となることを確認するとともに、個人の思いを関係者が共有することで関係性を醸成する可能性があることを明らかにした。</p>	